

2012年11月30日

株式会社中山アモルファスへの出資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（東京都千代田区、代表取締役社長 能見公一）は、株式会社中山製鋼所（以下「中山製鋼所」）（大阪府大阪市大正区、代表取締役社長 藤井博務）が新設会社分割方式により設立するアモルファス金属の製造およびアモルファス金属を使用した応用製品の設計、製造、販売を行う株式会社中山アモルファス（以下「同社」）による第三者割当増資を引き受け、同社の今後の製品開発等に必要な成長資金として8億円の出資を行うことを決定しました。

アモルファス金属は、原子が通常の金属のように周期的に配列していない非晶質であり、溶融した特定の金属合金を急速冷却することで生成され、耐食性、強靱性、軟磁性等の面で通常の結晶構造を有した金属材料と比較して優れた特性を発揮します。

中山製鋼所は、超急冷遷移制御噴射機の開発および世界最高位の耐食性能、耐摩耗性能を有するアモルファス金属の開発に成功しています。すでに、錆や摩耗に対して要求が厳しい化学薬品供給ポンプの軸スリーブに、アモルファス金属の皮膜を安定して形成させ製品化しています。また、アモルファス金属の磁気特性を生かした高感度、高速応答の磁歪式回転トルクセンサの開発に成功しています。今後、外部研究機関やパートナー企業と広く協業することで事業展開を早期に進めていきます。

中山製鋼所はアモルファス事業を分割し同社を設立することで経営の効率化、事業推進のスピードアップを図り、同事業の早期収益化を目指します。INCJは同社に対し、今後の製品開発等に必要な資金を供給するとともに、役員の派遣、開発協力体制の構築、戦略的提携先の開拓支援等の経営面でのサポートを行います。

株式会社中山アモルファスについて

設立	2013年2月（予定）
事業内容	アモルファス金属の製造およびアモルファス金属を使用した応用製品の設計、製造、販売
本社所在地	大阪府大阪市大正区
株主構成	中山製鋼所 100%（INCJ 出資前） INCJ82% 中山製鋼所 18%（INCJ 出資後）

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJは、2009年7月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約2兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJは、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJでは、これまでに合計30件・総額約4,200億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスやITの分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構 企画調整室 小林・市原・望月・松島

東京都千代田区丸の内1-4-1

丸の内永楽ビルディング21階

電話：03-5218-7200（大代表）